

光配信アドホックグループ会合(第1回)について

参考資料
光AH

日時:平成29年4月19日(水) 10時00分～

場所:(一社)放送サービス高度化推進協会(A-PAB)会議室

構成員:

【所属】	【社名等】	【名前】
一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)	サン電子(株) 開発部 副部長	奈良木 一郎
	日本アンテナ(株) 営業統括部 担当部長	沼尻 好正
一般社団法人 電波産業会(ARIB)	日本放送協会 放送技術研究所 上級研究員	田中 祥次
一般社団法人 日本CATV技術協会(JCTEA)	事業部長	林 孝一
一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟	常務理事	和食 暁
一般社団法人 放送サービス高度化推進協会(A-PAB)	技術部 部長	宇佐美 雄司
一般社団法人 リビングアメニティ協会(ALIA)	マスプロ電工(株) 執行役員開発部長	武田 政宗 (リーダー)
	DXアンテナ(株)開発本部技術推進課 担当課長	松下 智昭
【事務局】		
総務省	放送技術課 課長補佐	糸 将之

光配信アドホックグループ会合(第1回)で出された課題等

<構成員から出された課題>

➤システム価格が高額

- ・多量に流通している波長(レーザー)の活用等

➤施工が専門的

- ・特殊な技術や工具を不要とする手法等

➤RF回路(ブースター)の必要性

- ・LNBダイレクト光出力等

➤地上波との混合伝送の必要性

- ・HFC方式の具体化検討等

➤一般家庭への導入を前提とした安全性の担保が必要

- ・物理的にレーザーが漏れない構造等

<今後の進め方>

上記の課題解決に向けて、専門家の知見等を活用しつつ、技術的検討を進め、年度内を目標に報告